

少年法判例百選〔第2版〕

川出敏裕 編

担当編集から

本書第1版が刊行された1998年当時、少年法は「国民の間にもっとも強い関心をよんでいる法律」でした（第1版「はしがき」より）。それから四半世紀。少年保護事件の件数は大きく減少するも無くなることはなく、少年法は幾度も改正され、「本書旧版の刊行時から現在に至るまで、少年法は、絶えることなく、社会の関心事であり続けてきた」（本書「刊行にあたって」より）のです。

26年のあいだに、重要な裁判例が数多く出されました。また近年では、成年年齢の引下げに伴う「特定少年」の導入（令和3年改正）も記憶に新しいところです。第2版では、こうした新たな判例、新たな動きに対応する項目を数多く収録しています。旧版から維持された判例項目も、この間の動きを踏まえ、内容が大きくアップデートされました。

気鋭の研究者・実際に少年事件に携わる実務家の執筆陣による信頼の一冊。今号の特集1「少年法の基本」とあわせ、少年法の現在地を知り、学び考える一助として、ぜひ、お手に取っていただければ幸いです。（SN）

Point

少年法をより深く、正確に理解するための資料も充実しています。

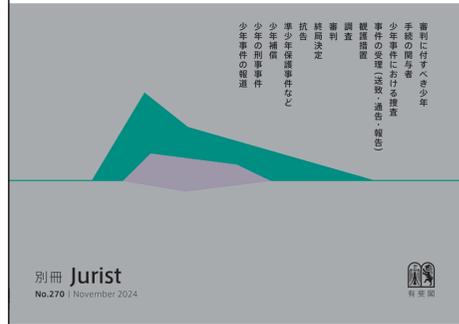
- I 審判に付すべき少年
- II 手続の関与者
- III 少年事件における捜査
- IV 事件の受理（送致・通告・報告）
- V 観護措置
- VI 調査
- VII 審判
 - (1) 審判条件
 - (2) 審判の手続
 - (3) 証拠法則と証拠調べ
 - (4) 非行事実の認定
 - (5) 要保護性の認定
- VIII 終局決定
 - (1) 保護処分決定
 - (2) 検察官送致
 - (3) 一事不再理の効力
 - (4) その他

- IX 抗告
- X 準少年保護事件など
 - (1) 收容継続
 - (2) 戻し收容
 - (3) 施設送致申請
 - (4) 保護処分取消し
 - (5) 強制的措置
- XI 少年補償
- XII 少年の刑事事件
 - (1) みなし勾留
 - (2) 公訴提起
 - (3) 公判・裁判
- XIII 少年事件の報道
 - [資料] 少年法改正の歴史
 - [資料] 少年保護手続に関する統計資料
 - [資料] 少年事件手続概略図
 - [資料] アメリカの代表的判例

少年法 判例百選

〔第2版〕

川出敏裕 編



用途	対象
学習 研究 実務	学部 LS 法曹

2024年12月発売／264頁／定価3190円（税込）
B5判／並製

